

レジリエンスの基礎となる資質・能力	キーワード	子供の姿と教師の援助・指導（○：子供の姿 ⇒：教師の援助・指導）	
<p style="text-align: center;">粘り強く取り組む力</p> <p>自分（たち）の目的に向かって、諦めずにやってみる。</p>	<p>諦めずにやってみる</p> <p>達成感</p>	4年生	<p>○困ったときに、すぐに助けを求めず、自分なりに試行錯誤しながらやっている。 ⇒結果だけでなく頑張りの過程を承認し、自分の努力を実感できるようにする。</p>
		5年生	<p>○うまくいかないことに遭遇しても、何度も試行錯誤し、解決に向かって行動している。 ⇒諦めずにやっている姿を認めたり、周りで応援したり、時には他者をつないだりしながら、達成感を感じることができるまで、見守る。</p>
		6年生	<p>○うまくいかないことに遭遇しても、必ずできると信じて試行錯誤し、改善を図り、解決に向けて行動している。 ⇒うまくいかないことを意図的に設定するとともに子供と教師が目的を共有することによって、解決することで自分・自分たちに付く力をイメージさせる。</p>
		7年生	<p>○うまくいかない場面に直面しても、諦めずに原因を考え、様々な方法を試しながら解決に向けて粘り強く取り組んでいる。 ⇒安易に答えを求めるのではなく、解決に至るまでの過程における「気づき」や「小さな変化」を評価し、試行錯誤することの意義を実感させる。</p>
		8年生	<p>○困難に直面しても、試行錯誤を重ねながら、自ら工夫し問題の解決に向けたよりよい方法を見出している。 ⇒課題解決のプロセスに焦点を当て、「どう工夫したか」「どこでつまずき、どう乗り越えたか」を振り返る時間を設ける。 ⇒成功・失敗のいずれにおいても、粘り強く取り組んだ点に注目し、努力の過程を承認するフィードバックを丁寧に行う。</p>
		9年生	<p>○困難な課題や長期的な目標に対しても、自らの経験や学びを総動員して最適解を求めて工夫し、最後までやり遂げている。 ⇒これまでの粘り強い取り組みが自己の成長につながっていることを自覚させ、将来の予測困難な課題に対しても主体的に立ち向かう自信をもたせる。</p>
<p style="text-align: center;">コラボレーションする力</p> <p>友達の思いに耳を傾け、協力して遊びや生活を進めるようになる。</p>	<p>思いを伝え合う</p> <p>協力する楽しさ</p>	4年生	<p>○友達と話し合い、自分と友達の考えを比べている。 ○意見と意見を関係付けて、よりよい関係を導いている。 ⇒友達と自分の意見の違いを認める姿や、自分の思いを適切な言葉を選び伝える姿を価値付ける。</p>
		5年生	<p>○他者との対話を通し、相手の気持ちを考えながら意見を聞いている。 ○相手の考えを尊重しながら、状況の改善につながる意見を述べている。 ⇒課題を共有したり、それぞれの考えを交流する機会を保障したりすることを通して、みんなで考えるとよりよいアイデアが生まれるという体験を実感できるようにする。</p>
		6年生	<p>○他者との対話を通し、相手の気持ちを考えながら意見を聴いている。 ○相手の考えを尊重しながら、状況の改善につながる意見を述べている。 ⇒光輝の学習において、対話の場面を効果的に設定し、自分の意見と相手の意見を可視化できるような板書やワークシートの工夫を行う。 ⇒相手の考えを知るだけでなく、取り込んだり、参考にしたりしながら、自分の意見を深めるような声掛けの工夫を行う。</p>
		7年生	<p>○自分の考えと他者の考えを比較・関連付けながら聴き、建設的な対話を通して合意形成を図ろうとしている。 ⇒意見の不一致や対立を、思考を深める好機と捉えさせ、互いの考えの根拠を明確にしながら納得解を見いだすプロセスを支援する。</p>
		8年生	<p>○考えの違いを尊重しながら、仲間と協働してよりよい考えや解決を導き出すことができている。 ⇒表面的な協力や同調にとどまらず、「なぜその意見にしたのか」「どうすればさらによくなるか」など、意図の共有と相互理解を促す問いかけを行う。 ⇒小グループ活動の後に、「自分の意見がどう活かされたか」「友達の意見にどう影響を受けたか」などを内省させ、かかわりの価値を実感させる場面をつくる。</p>
		9年生	<p>○多様な価値観を持つ他者と協働する中で、互いの強みを生かし合い、新たな視点や価値（最適解）を創造している。 ⇒社会での実践を見据え、集団の中での自らの役割を果たしながら、チームとして成果を最大化する経験を積みませ、その有用性を実感させる。</p>
<p style="text-align: center;">複眼的に思考する力</p> <p>自分とは異なる考え方に触れる。</p>	<p>異なる考え方があることに気づく</p> <p>よりよい解決へ</p>	4年生	<p>○2つ以上の事実を比較し、関係付けている。 ○比較することで、対比や類比を行い、関連していることに気付いている。 ⇒活動の様子の記録を残し、提示することで、比較し、その異同に気付けるようにする。</p>
		5年生	<p>○事実や出来事に対して複数の立場の人の思いや願いを捉えている。 ○自分なりに新たな見方や考え方を見出している。 ⇒同じテーマを共有し、課題に対してそれぞれの考えを交流することを通して、立場の異なる他者の思いや願いを認めながら、よりよい解決策を見つけられるようにする。</p>
		6年生	<p>○事実や出来事に対して複数の立場の人の思いや願いを捉えている。 ○新たな見方や考え方を見だし、考えを深めている。 ⇒各教科の学びの中で、複数の立場の人の思いや願いを子供から引きだせるような手立てをうち、それを共有することで自分の考えを深められるようにする。</p>
		7年生	<p>○事実と意見を区別し、自分と異なる視点や複数の情報を比較・関連付けながら、物事を多面的に捉えようとしている。 ⇒「短期的・長期的」「メリット・デメリット」など、対立軸やカテゴリーを用いた思考ツールを活用させ、意図的に視野を広げる手立てを講じる。</p>
		8年生	<p>○出来事や課題を、多様な視点や立場からとらえ直し、自分なりの新たな見方や考え方を構築できている。 ⇒学習や生活の中で、「もし○○だったら？」「別の立場から見たら？」という仮説的思考を促す発問を多用する。 ⇒自他の考えの違いや共通点を比較し、「なぜそう考えるのか」を言語化させることで、視点の広がりや深まりを支援する。</p>
		9年生	<p>○複雑な課題や対立する事象に対し、バイアス（偏り）にとらわれることなく多角的な視点を統合し、公正な判断や納得解を導き出している。 ⇒社会的な課題などを題材に、批判的思考（クリティカルシンキング）を働かせて情報を吟味し、対立する視点をより高い次元で調和させる思考力を養う。</p>

レジリエンス

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動例及び内容	<p>【4年生】輝け自分！～I Love Me～</p> <p>上学年になったよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自伸会入会式の入場退場の花道を作って1年生を迎えることで、学校の一員として仕事を果たす喜びを感じ、上学年としての自覚をもつ。 	<p>幼稚園さんとの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで意見を出しながら、幼稚園さんも4年生も楽しめる競技を考え、実際に交流する中でより良い競技に変えている。 ・競技の制作物をグループで考え、みんなの意見を取り入れながら試行錯誤して作っている。 	<p>これからも よろしくね</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に運動会に取り組んだ幼稚園さんに感謝の気持ちを伝える。 ・これから一緒にやりたいことやできることを考え、実行している。 	<p>成長を振り返ろう①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の誕生から幼児期を振り返り、家族や周りの人から愛されていることを実感できる。 ・家族の人へインタビューを行い、自分の成長を見つめることができる。 	<p>成長を振り返ろう②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学時～3年生を振り返り、様々なことができるようになった実感をもてる。 ・小学校高学年での自分の姿を見据え、「こうなりたい」という希望をもつ。 	<p>将来を見つめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来つきたい職業やなりたいものについて調べ、将来への具体的な想像と希望をもつことができる。 ・10年後の自分に手紙を書くことを通して、現在の自分の様子を見つめなおし記すと共に、将来を楽しみにする気持ちをもつことができる。 	<p>二分の一成入式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで見つめてきた自分の歩み(成長)をまとめることができる。 ・友達と協力して自分の成長を表現する方法を考え、実行している。 ・お家の人へ今までの感謝の気持ちを伝えることができる。 					
	<p>【5年生】和・WA！・輪</p> <p>1・5交流(お迎え行事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学してきた1年生が安心して学校生活を送れるように、サポートすることができる。(和) 	<p>5・7交流(合同運動会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同運動会に向けて、7年生とともに、競技を練習することを通して、リーダーとしての資質や能力を肌で感じながら、これからのリーダー像をつくることができる。(輪) 	<p>1・5交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5・7交流を通して、得た能力を活用して、1年生を楽しませる活動を行い、1年生との交流をさらに深めることができる。(和) 	<p>5・7交流(自伸会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7年生の自伸会役員選挙に向けての思いやリーダーとして大切だと思うことについて語り合う活動を通して、自分たちにできることを考えることができる。(輪) 	<p>リーダーとしての5年生(野外活動)・(地域活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生の絆を深めとともに、自分たちのよさを再発見し、5年生だからこそできることを考えることができる。(和) ・地域に対して貢献する。 	<p>リーダーとしての5年生(自伸会・委員会の引き継ぎ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この学校のよさや自伸会信条について、6年生と語ったり、こんな学校にしたいという思いをもつことができる。(WA！) 	<p>新しい学校のリーダー5年生(自伸会・委員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな自伸会や委員会について、自分にできることを考え、実行することができる。(WA！) 					
	<p>【6年生】</p> <p>【自伸会101年目プロジェクト】</p> <p>第1弾:自分なりにやってみよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわやか班結成・自伸会入会式 ・さわやか班遠足 <p>第2弾:別研修から学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の班別研修に向けて、計画を立て、実行し、ふり返りし、これからの活動に生かす。 	<p>第3弾:先輩から学ぼう～岡田市長との対話会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話、質疑応答、ふり返り、まとめを行う中で、年間の活動の問いを設定する。 ☆大きな問いの設定☆ 「尽くして感謝とは一体どういうことなのか？」を明らかにしよう! 	<p>第4弾:自伸会信条を体感しよう～三原を盛り上げようプロジェクト～</p> <ul style="list-style-type: none"> ★P(計画)の策定①★ ・三原市観光課の方との対話⇒三原市の観光の状況を知り、三原市に外国人観光客を誘致する方法を考える。 	<p>★P(計画)の策定②★</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴール:外国人に三原駅周辺のガイドをする。 ・三原駅周辺の外国人向けのパンフレット作成 ・ガイドするための準備 	<p>★D(実行)①★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三原駅周辺のことを知らない教育実習生に対して、ガイドのリハーサルを行う。 ・リハーサルのC(評価)の分析 ・リハーサルからのA(改善)の実施 	<p>第5弾:自伸会信条を体感しよう～5年生に自伸会信条を引き継ごう～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生を対象に、委員会活動のプレゼンを行い、これまでの活動を伝える。 	<p>第6弾:自伸会信条を体感しよう～6送会を通して自伸会信条を表現しよう～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことを伝えたいか、そのためにどのような表現が適切か話し合う。 ・本番に向けて、試行錯誤を重ねながら、思いが伝わるかを検証する。 ・リハーサルを行う。 ・当日は在校生への感謝の思いを感じながら、会に臨む。 	<p>第7弾:1年間のまとめ～自伸会信条の学びを伝えよう～</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆大きな問いの最終まとめ☆ ・尽くして感謝についての学びをポスターにまとめる。 ・まとめたものを保護者に向けて発信する。 				
	<p>【7年生】</p> <p>スタート☆トレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校で新しくできた仲間との交流を通して、お互いを助け合ったり、思いやりをもって接したりといった協力ができている。 	<p>【若い力】継承プロジェクト『5・7交流』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と中学校との懸け橋としての役割を考えながら、中学生としての自覚を持ち、体操の方法や体の動かし方を伝え合っている。 	<p>運動会の異学年競技『5・7交流』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生の美点を理解しながら、中学生として5年生のサポートをしたり、競技を楽しむためにリードをしたりしている。 	<p>文化祭(クラス合唱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとフォロワーの役割を考えながら、クラスで1つの曲を作り上げることを通して、多様な他者と協働する喜びを味わっている。 	<p>〇〇で三原を元気に!!(探究活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三原市の現状を踏まえて、課題を設定している。 ・三原市が実際に取り組んでいる事例を踏まえて、自分たちがいかに社会とつながるかを考えている。 							
	<p>【8年生】</p> <p>運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話しやすい環境づくり、ならびに、学年種目を作成する上で生じた課題解決に向けて、各自が状況に応じて積極的にかかわることで、他者と協力して取り組んでいる。 	<p>文化祭(クラス合唱・縦割り合唱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の改善にむけて練習計画を考案・実行することができる。また、学級のみならず、学年を越えてコミュニケーションをとることでよりよいものをつくりあげることができている。 	<p>修学旅行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団行動を通して相互の連帯感を高め、集団活動に即した行動をとる。 	<p>探究学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値を題材とし、他者と意見を交流しながら自分たちで定めた問いの答えを導くことができる。また、主観に留まることなく、先行研究やデータに基づいて複眼的に思考しながら取り組んでいる。 	<p>わくわくWORK</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に職場で働き、働く人と意見を交流することで、自分たちが捉えている働くことの意味との違いに気づき、新たな考えを見出している。 	<p>9年生に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の取組を振り返り、成果と課題を把握することができる。進路実現に向けて、9年生の生活について見直しをもつことができている。 						
<p>【9年生】</p> <p>学級集団づくり・学年集団づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSTを通して、他者を受容しながら相手に自分の意見を伝えるスキルを身に付け、日常の学校生活に汎化させることができている。 	<p>運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校園全体のために自分ができることは何か、学年のために自分ができることは何か、自分自身のために自分ができることは何かと広い視点から狭い視点で自分と対象者とのかわりについて考えている。 	<p>文化祭(クラス合唱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の改善にむけて練習計画を考案・実行することができる。また、学級のみならず、学年を越えてコミュニケーションをとったりよりよい合唱表現に導いたりすることでよりよいものをつくりあげている。 	<p>探究学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者と意見を交流しながら自分たちで定めた問いの答えを導くことができる。また、主観に留まることなく、先行研究やデータに基づいて複眼的に思考しながら取り組むことができる。また、探究学習発表会に向けて、これまでの成果をまとめる中で、情報を整理したり、結論を導いたりするなどする。 	<p>卒業に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小中12年間、小中9年間、中3年間とこれまでの学校園での生活を振り返り、自分について力と今後の課題について考えるとともに、仲間とのあたたかいつながりやそのつながりの中で自分がどのように他者とかかわってきたかということを振り返り、言葉などで表現する。 								